

すぎのこ



幼保連携型認定こども園
尚綱大学附属こども園

運動遊びが運動会につながります

園児たちは時折小さな輪をつくっては、ルールを確認し合ったり、新しい遊び方のアイデアを伝えあったりしています。協同的な遊びにつながるコミュニケーション能力は、運動遊びの中でも育まれているのが分かります。

子どもたちの姿が、とても頼もしく感じられます。
ある年長児に「運動会の種目は何が楽しみ？」と尋ねたところ、「ぼく尚綱が大好きだから、何でも好き。」と答えました。なんと嬉しいことでしょう。好きこそもの上手なれ：今この時期にいろいろなことにチャレンジさせたという思いを新たにしました。

「〇ちゃんががんばっているから、わたし(ぼく)もがんばる！」
先日ある保護者の方とお話したときのことです。お子さんが一学期の途中から手術入院し、登園できない日が続きました。二学期から復帰して久しぶりに登園したときに、他の保護者の方から「〇ちゃん(手術や入院で)頑張っているから、わたし(ぼく)も頑張ると言って、夏休み、苦手なことや嫌なことにも頑張つて挑戦したのよ。ありがとう。」と声をかけてくださったそうです。



「入院中励ましてもらったのにこちらが感謝してもらって…」とおっしゃいました。
運動、身体だけでなく、心も着実に成長している園児たちです。

暑かった夏がようやく終わりを迎え、さわやかな風がなびくようになつてきた頃から、園庭に園児の楽しそうな声が響く時間が長くなり、そこかしこで心と体と頭を動かしている園児の姿に出会います。

伸びたせんだんの木のぼりをこわごわとしながらも少しでも上に進むようと挑戦しています。またある園児はバツタやカマキリを捕まえようと息を潜めて静かに草むらの中を進んでいます。なかなか目的には達成できませんが、失敗するたびに新たな創意工夫を行い、そう簡単にはあきらめません。三輪車を楽しむ園児は自分で走るコースを決め坂道を登ったりペダルを踏むのをやめて下つたりを繰り返しています。下りの気持ちよさを味わうために頑張つて上り道をしていいます。

運動会では日頃の生活の中で園児が楽しみつつ身に着けたり伸ばしたりした、様々な資質・能力を保護者の皆様と共有し、その成長を共に喜び合う機会にしたいと考えています。保育者は園児たちと、おうちの方に何を見てもらいたいかを相談し、当日のプログラムを作り上げています。

当日は、子どもたちが一生懸命頑張る姿を、温かい声援で見守つただけだだけばと思います。保護者の皆さまの拍手や応援は、子どもたちにとって何より大きな力となります。ご家庭でも「よく頑張ったね」と声をかけていただくことで、子どもたちの自信にながつていきます。子どもたちの笑顔と成長をみなさんと一緒に喜び合える運動会になりますように。どうぞ楽しみにしててください。

令和7年度「すぎのこ」第6号
ある子は、ただただ自分の体が思い通りに動くことを楽しむように、築山を登っては駆け下り遊具によじ登っては飛び降ります。身体を動かすことそのものを楽しみ、その楽しみを通じて身体機能を自ら伸ばしていく姿がそこにはあります。

ある園児は、ただただ自分の体が思い通りに動くことを楽しむように、築山を登っては駆け下り遊具によじ登っては飛び降ります。身体を動かすことそのものを楽しみ、その楽しみを通じて身体機能を自ら伸ばしていく姿がそこにはあります。

練習のなかでは、うまくいかなこともありますが、「もう一回やってみよう！」と挑戦する姿が見られるようになってきました。友だちと声を掛け合い、気持ちを合わせる中で、協力することの大切さも少しずつ感じ取っています。運動会の取り組みを通して、心も体も大きく成長している

そして、運動会が終わっても、園児たちの挑戦や探求は続きます。ご家庭でも引き続きともに楽しんでいただければ幸いです。

ある園児は斜めに



数人のグループでボール遊びに興じる